莇地営農組合の山口型放牧終牧

周南農林事務所畜産部
平成21年12月7日

周南市の莇地営農組合が、荒廃した水田を農地として再生させるために行っていた山口型放牧を12月４日無事終了しました。

10月末の放牧開始から約１ヶ月あまりの間に、牛２頭は、放牧地のクズやススキ等の雑草をきれいに食べ、畜産農家の牛舎へ帰っていきました。冬に、元気な子牛を産んでくれることと思います。

来年度以降の山口型放牧の活用については、今後法人の理事会などで検討する予定です。

放牧開始時の様子

仕事を終えて牛舎に帰る牛